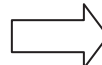


手の届かないところにあるおもちゃを取ってほしい、おやつのおかわりがほしい、など要求や困った事を訴えることができない。



・こどもの行動を先取りせず、要求を出しやすい場面をつくり、言葉や動作、カードを使って引き出していく。
「取って」「手伝って」「教えて」「貸して」など、お願いする言葉の使い方を知らせていく。



・お願いする言葉をモデリング（言葉や動作モデルを真似る）したり、繰り返し促されて使うことで、表現しようとする姿がでてくる。友だちにも要求を受け止めてもらうように伝えておく。



POINT

こどもの行動を先取りしたり、すぐにわかって応じるのではなく、場面に応じた言葉を引き出していくことも必要です。言葉・文字・サイン・身振りや実物などこどもが使える方法で自発的な表現を増やしコミュニケーションスキルを育てましょう。

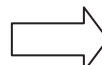
片付けの時間や活動中に部屋から出て行く。



・部屋から出て行く原因を探り、取り除く。
・カードを使って、どこに行くのか、何をしたいのかを伝えられるようにする。 ⑪

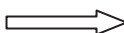


うんちをしに いきます	じむしよに いきます	30ぶん
おしっこに いきます	へやに かえります	45ぶん
てを あらいます	そとに いきます	1じかん
	ぼうしを かぶります	1じかん30ぶん

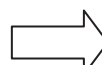


・部屋が騒がしい、活動が分からない、外部の刺激に影響されているなどに原因があるときは、その刺激を取り除くことで部屋から出て行くことが少しずつ減ってくる。
・意思表示をすることで保育士とコミュニケーションが図れ、行きたい場所や落ち着く場所で欲求を満たし安定して過ごすことができる。
タイマーを使ったり、声かけを繰り返す中で、区切りをつけて部屋に戻るようになる。

友だちが使っているおもちゃを取ったり自分の思いを通そうとする。



・おもちゃは一人で遊べる量に分け『ひとりぶん』と表示しそれを使うことを知らせる。
・友だちに自分の気持ちを言ってもらい、保育士が仲立ちし相手も欲しがっていることを伝え交渉する。



・『ひとりぶん』と言うラベルどおり納得して遊んでいる。
・交渉が上手くいかず、思い通りにならなかった時は、予め予備を準備しておき保育士に交渉させて手に入れるか、あきらめさせるかをする。



POINT

3. 4歳児位では、譲る、分け合う、ということが納得しにくいです。分け合うことを目標にするとストレスになるのでトラブルを起こさないことを目標にします。思うようにならずパニックになった時はあえてしばらく様子を見ます。